

景況実感調査(2015年5月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① E G、酸洗の2品種において外材が入るであろう。7月ごろを目安に価格がもう一段下がると思う。荷動きについては、買い控えの反動からか、多少動きがある。
- ② 販売シェア確保を最優先に、流通各社は先を競ってユーザーへの売り込みに懸命だ。安値の輸入玉が入着する話も聞こえており、市況後退の可能性が強まってきた。当面メーカーの減産効果を期待せず、手持ちの在庫調整を進めていきたい。
- ③ 市場の荷動きは鈍く、今後価格が底値に向かうか。
- ④ 店売りは相変わらず低調であり、明るい兆しは全く見えてこない。
- ⑤ 実働18日となり、対前月3日減以上の日足売上、数量ともに下押しとなった。消費税増税直後の昨年実績をも下回り、深刻な状況だと認識している。株価だけが連騰しているのを見ると違和感を覚えるが、製造業の国内回帰や、企業の設備投資動向は緩やかにではあるが上向いている数字も出ているので、秋以降には建築も含めて仕事は出て来るとの感触もある。ただ、建築費の高止まりで入札の不成立等も出て来ており、大手ゼネコンの受注姿勢も、職人不足や資材価格の値上がりを受けて選別受注を強めており、施主側も工事予算の高騰で案件先送りもある。我々も市況悪化の中、赤字販売は自殺行為と心得たい。

中板

- ① 5月は稼働日数も少なかったが、連休後も荷動きの回復もなく低調な商いであった。国内メーカーは減産だが、輸入材が入荷しており市況に悪影響が出ている。販売価格を下げてても数量は増えない。適正価格を維持するよう努める。
- ② 4月から荷動きがあまり変わらず推移している。足下、目立った仕事がなく、例年以上に厳しい年度初めになっている。

厚板

- ① セグメントは好調。一般店売りは低調。建築物件の遅れもありこれから好転していくであろう。

—舟安开金鋼

- ① 4月の弱い荷動きの延長と、4月比2日営業日数減で、今月は大幅な業績後退を予想していたが、中旬より多少荷動きが持ち直してきたので、各調査項目は前月比で何とか横這いで済んだ。このまま荷動き回復基調に入ると思われるが、力が弱いので助走期間が長引くのではないか。
- ② 現場が出ているところに格差がある。

II开金鋼

- ① 前月同様に荷動きは低迷しているが、先の需要は有るとの見方が強いため、在庫は大事に市況の維持に努める。
- ② 市況の下げ止まりは感じるが、需要の回復は感じられない。店売りに需要が回って来るには、もう少し時間がかかると思われる。

異形棒鋼

- ① 5月は予想以上に販売不振。メーカーは減産にて販売価格を維持しているが、流通の販売姿勢は弱腰が目立ち、市況はじり安傾向。

平鋼

- ① 荷動きは相変わらず低位横這い。GW明けの駆け込みもなく、建築需要も端境期か。秋以降の引合いは少しずつ出始め、雰囲気は良いが足下は非常に悪い。価格は、スクラップも反転しようやく底値が見えてきたか。

軽量形鋼

- ① 6月からマンション大型物件に納入開始予定。7月以降、同物件向けの出荷が伸びる見込み。

鋼管

- ① 出荷量は前月、前年比ともに微増だが、低調さは変わらず。市況も弱含み横這い状況にある。

構造用鋼

- ① 需要動向については、自動車関連部品は国内販売の不振により減産が続いている。とくに、増税の影響で軽自動車向けが良くない。建設機械関連は全体的に調整が続いており、店売りに影響している。工作機械関連は比較的堅調な動きとなっている。店売りの荷動きは相変わらず鈍い状況が続いている。市況は弱含み横這いで推移している。市中在庫は適正水準となっている。
- ② 店売りの動きはかなり悪く、市況についても弱含みの状態。建機関連も悪く、全体的に先行き不透明な状況である。

ボルトナット

- ① 物件の遅れがあり納入出来ない商品があるため、数か月後には好転する。

鋼材全般

- ① 4、5月と例年より悪いのは間違いない。

その他

<曲げ加工>

- ① 今月も思ったように売上は伸びなかった。先月と今月はよく似た数字で横這い状態。一時的に仕事が混んだり、急激に暇になったりの繰り返しで、平均してみれば加工量は上がっていない。鉄関連の仕事の低迷が少し長過ぎるように思う。

<スクラップ>

- ① 国内メーカーも減産が続いていると聞く。需要が回復しないことにはスクラップの発生も少なく、スクラップを取り巻く環境は厳しい。

<金属表面処理加工>

- ① 5月の紐付きの扱量は予定通り。物件物は一部工程が遅れたが、スポット材のまとまった物量が多く、処理量としては計画通りとなる。6月以降、プラント案件、物件物が控えており、高い操業を維持出来そうである。4月からの工場機械リプレースも順調に進んでおり、7月からの操業開始に向け着々と進行中。